

年	組	番	名前

〈この学習を通して身に付けたい読む能力〉

- ・ 文章全体と部分との関係、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる能力。
- ・ 物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について根拠を明確にして自分の考えをまとめる能力。
- ・ 物語に表れているものの見方や考え方について知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる能力。

〈学習の流れ〉

- 1 物語を読み、話の流れを確認しよう。
- 2 登場人物の人物像と心情を捉えよう。
- 3 学習課題に取り組み、走れメロスの作品世界を捉えよう。
- 4 作品の紹介カードを作ろう。

(* 1、2は教材 4-1(2)を参照)

(みなさんへ) 他の学習課題も考えて見よう。
 ・ 山賊は王の命令でメロスを待ち伏せていたのか。
 ・ 「一人の少女が緋のマントと赤面した。」の部分はあつた方がよいか、ない方がよいか。立場を明確にしてその理由を説明しよう。

① (学習の流れ 3) に関する学習課題 (本文の描写や表現に着目し、根拠を明確にして自分の考えをまとめよう)

① 【人物像について】メロスとディオニスの共通点は何だろう。二人の叙述を確認して書いてみよう。



② 【話の展開について】メロスの行く手をはばんだ困難や誘惑を書いてみよう。(メロスにとって最大のピンチは?)

③【情景描写について】次の情景描写は何を表しているか書いてみよう。

1 「初夏、満天の星である」

2 「黒雲が空を覆い、ぽつりぽつり雨が振りだし、やがて車軸を流すような大雨となった」

3 「塔楼は、夕日を受けてきらきら光っている」

④【人物の行動について】「私は、何だか、もっと恐ろしく大きいもののために走っているのだ。」とメロスは言っていますが、「もっと恐ろしく大きいもの」とは何だと思えますか。

2

(学習の流れ4) (作品の魅力を確かめながら、印象に残るフレーズを見つけて、作品介绍カードを作ろう。)

① 印象に残るフレーズ(本文の短い部分)を見つけよう。選んだ理由も書いてみよう。

② 印象に残るフレーズにつながる、短い作品介绍(キャッチコピー)を書こう。

紹介カード(下書き)

実際には色や使ったり、イラストを入れたりして完成させよう。そして、カードを使って、グループで交流してみよう。印象に残るフレーズの根拠をしっかりと説明しながら、作品や登場人物に対する思いや考えも話せるようにしよう。交流することで同じ作品の読んでいても、人によって様々な視点や考えがあることに気がつき、自分のものの見方や考え方を広げることができよう。

